

丸亀市発達障害児支援 相談窓口 ほっぺ

子育て中の保護者のみなさん、気になることがありながらも、「もう少し様子を見てみようか」と迷ったり悩んだり、誰にも相談できない状態にありませんか。

「丸亀市発達障害児支援相談窓口 ほっぺ」は、丸亀市幼保連営課よりNPO法人グランマールが委託を受け、発達障がいのある子どもを育てる保護者、子どもへの支援、保育士・教員の支援、関係機関との連携を行っています。

また研修会や通信などの情報提供等も行っていきます。

ほっぺでは、発達障がいや発達が気になる子どもの保護者に寄り添い、子どもの育ちをサポートします。

発達障がいの子どもの理解し支えていくために

松浦こどもメンタルクリニック 院長 松浦 秀雄

● 発達をつまずき、違和感、不安を感じる

子どもたちは一人一人が違った個性を持ち、学ぶスピードや興味の対象も様々です。「この子が得意なことがあの子は苦手」「あの子が大好きなことにこの子は興味がない」といった違いがあるのは、当然のことでしょう。しかし中には、大部分の子どもたちが苦もなくできていることが、その子にとってはとても難しいことで、そのために日常生活や学習面で困っている場合があります。このような子どもたちは『発達』につまずきを抱えているかもしれません。

● 発達障がいとは

発達障がいは主に次の3つが挙げられます。いずれも「病気」ではなく「特性」です。

*ADHD (注意欠如/多動症)

知的発達に大きい問題はないが年齢や発達程度に不釣り合いな不注意さや多動性、衝動性が認められます。注意集中が短い、注意が逸れやすい、うっかりミスがある、忘れ物をする、落ち着きがなくじっとしてられない、ごそごそする、思いついたことをすぐ口に出す、行動に移すなどが見られます。また時間を考えて行動できないとか片付けができないとかも見られます。

*自閉スペクトラム症 (ASD)

自分の興味、関心、価値観で自分流、自分本位に行動してしまうところがあります。相手や場の状況を考えて合わせていくことが苦手です。型にはまったことば遣いであったり、思ったことを一方的に話してしまってコミュニケーションがうまく取れなかったりすることがあります。興味のかたよりがあったり、いつもと同じにこだわったりすることがあります。変化を受け止められず混乱していわゆる「パニック」になることがあります。感覚過敏があって物音や触覚、味や臭いに過敏に反応してしまうことがあります。

*学習障害 (LD)

知的発達に大きい問題はなく、視力、聴力も大丈夫であるのに関わらず、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」のいずれか1つ以上がうまくできない状態です。「読み書き障害」が一番多いです。



● 保護者、周りの大人ができること

子どもの発達特性を理解して、特性によってうまくできないことを責めることなく「できた」につなげていくことが大切です。「できた」につなげるために、その都度声掛けや手助けをしてあげましょう。どうすると良いかを根気よく伝えておきましょう。そして普段にできていること、取り組んでできたことをしっかりとプラス評価してあげましょう。

「できなかった」経験よりは、手伝ってもらってでも「できた」経験のほうが情緒の安定、自尊感情の高まり、意欲の向上につながっていきます。うまくできなかったことについて話す時には「なぜそんなことをしたの? どうしてそうなったの?」ではなく、「何をしたいと思ったの? どうしようと思ったの?」と訊いてあげましょう。話をする時は、ことばだけのやり取りより場面を絵に描いてあげて話すほうがわかりやすいこともあります。

こどもの周りの大人たちが子どものこころ強い味方となって、「できた」経験を積み重ねていきましょう。子どもが快適な生活を送ることができれば、子どもはよい面や可能性を広げていけるでしょう。



プロフィール

松浦こどもメンタル
クリニック 院長

松浦 秀雄
まつうら ひでお

- 丸亀市発達障害児支援協働事業推進委員会副会長
- 丸亀市発達障害児支援協働事業専門相談員

長年、香川小児病院精神科に勤務した後、平成21年6月1日宇多津町で現クリニックを開院した。受診の便を考えてJR宇多津駅近くを選んだ。趣味は観劇。

丸亀市発達障害児支援相談窓口 ほっぺ

丸亀市幼保運営課から委託を受けて次の事業を行っています。



子どもが一人一人違うように、子育ても十人十色です。
子育ての中で戸惑い不安に思ったりすることは誰にでもあると思います。
子育て中の保護者のみなさん、気になることがあっても「もう少し様子を見てみようか…」と迷ったり悩んだり、誰にも相談できない状態にありませんか？
子どもさんの特性や行動を理解し、保護者がどうすればいいのか、今何をしたらいいのか、ヒントを得るために、アットホームな雰囲気の中で相談できる場を提供いたします。



発達障がいや発達が気になるお子さんを持つ保護者のための場 ぴあ・ほっぺ

保護者が日頃誰にも話せない、分かってもらにくいことを話せたり、情報交換や、出会える場として開設しています。



子どもと親のふれあいの場 はぐみくらぶ

人との関わりに不安を感じている、未就園児と保護者のための触れ合いの場として開設しています。専門相談員からの助言もあります。



セミナー・シンポジウム・ 専門相談員との交流会

子育て、発達障がいをテーマに、保護者や保育士、教員などを対象にセミナー・シンポジウムを開催しています。また、専門相談員と保護者の交流会、専門相談員と保育士・教員との交流会も実施しています。

発達障がいのある子どもの保護者の相談事業 すきっぷ

専門相談員をコーディネーターに、発達障がいのある子どもの保護者のためのグループ相談を行っています。

個別相談 ま〜る

発達障がいや発達が気になるお子さんを持つ保護者の方の個別相談の機会です。予約制で50分間専門相談員に相談できます。

保育士・教員の発達障がい児支援の勉強会 ハートサポート

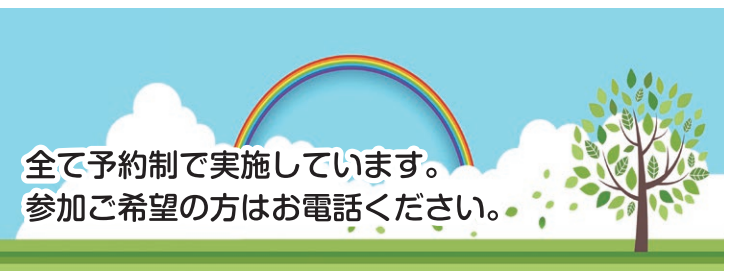
保育士・教員が、専門相談員のコーディネートのもと、事例検討やメンタルヘルス・特性のある子の関わりなど、テーマごとの勉強会を開催します。

※専門相談員は、医師、臨床心理士、公認心理師、大学教授等心理の専門家です。



巡回カウンセリング

専門相談員が保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校に巡回し、子ども達への関わり方を保育士・教員に、アドバイスしています。専門相談員による保護者との個別相談も随時実施しています。



「丸亀市発達障害児支援相談窓口ほっぺ」はホームページを開設しています。ご覧ください。

丸亀市発達障害児支援協働事業について

専門相談員による発達障がいの子育てコラム・動画配信

各事業のチラシや参加者の声

発達障がいの本(貸出可)600冊のリスト

ほっぺ通信

月毎の行事予定

情報冊子

NPO法人
グランマール

https://granmar-npo.com

丸亀市発達障害児支援相談窓口

ほっぺ

ひまわりセンター2階
(事務室 相談室 プレイルーム)
平日 9:00~12:00
13:00~16:00

(0877)85-6613 FAX (0877)85-6614

npochiiki@yahoo.co.jp https://hoppe-marugame.com/